

生かされた?

❗ 区への防犯灯電気料の補助率が下がったのはなぜか。

A

電気料の値上げにより補助率が67%になったが、今後は70%の補助を維持していきたい。また、
※LEDで経費削減を図りたい。

※白熱灯に比べ長寿命・低消費電力・省資源など優れた性能を持ち、高い省エネ効果があります。



❗ 粗大ごみ事業の高齢者世帯などへの対応は。

A

個々のケースごとに対応している。クリーンセンター(TEL 65-4343)に相談していただきたい。



❗ 下水道接続可能者の接続状況は。

A

接続可能な8312戸のうち、1072戸はまだ接続していない。今後も接続への呼びかけはしていく。

❗ たまりんの乗客数が全体的に減少しているが、原因と対策は。

どこまで乗っても100円です



A

使いづらい、免許を持った高齢者が増えた、住民要望の多様化などが原因である。今後は、地域公共交通会議で新路線など検討していく。



・決算認定までの流れ・

決算とは、予算を執行した結果、どのような成果を上げたかを示す成果報告です。会計年度が終わってから、時間をかけて慎重に審査します。

平成21年 3 / 31 会計年度 (H20) 終了

平成21年 5 / 31 出納を閉鎖

この間

- ・ 会計管理者が決算を町長に提出
- ・ 監査委員が決算を審査
町長に意見書を提出 (8月)

平成21年 9 月 9月定例議会

町長が監査委員の意見書を添えて議会に上程

決算特別委員会で審査 (質疑応答)

決定した決算が適正に執行されたか審査し、その行政効果や経済効果を調べ、住民に代わって行政効果を評価します。今後の行財政運営の改善に役立てる大切な意義があります。

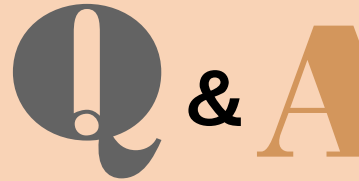
討論を経て各会計ごとに採決

全員賛成か賛成多数で認定

決算は、ただ単に認定して終わりではありません。重要なのは、その結果を、その後の予算編成や財政運営の一層の健全化と適正化に生かしていくことです。

町民のくらしにどう

決算特別委員会



Q 経営改革による人件費削減は、進んでいるか。

A

19年度基準で見れば、1000万円ほど削減が図れた。

このほか長い時間をかけて審査を行いました。質疑の一部をお伝えします。

Q 創業塾の今後の展望は。

A

20年度は、16名の参加があり、そのうち3名が女性である。目に見える成果は難しいが、成功している例もある。

Q ふれあい農園事業の成果は。

A

農業公社が管理しており、162区画ある。消費者の家庭菜園として利用されている。



いろいろな野菜が栽培されています

Q 子ども安全協力の家の見直しは行っているか。

A

約600軒登録されている。登録世帯には、3年に一度協力の確認をしている。次回は平成22年3月までに確認する。



カンガルーの絵が目印

新規登録は随時受け付けています。詳しくは、生涯学習課まで (TEL 65-1000)

Q 老人保健特別会計はいつまでか。

A

平成20年度から後期高齢者医療特別会計がスタートしたが、平成23年度まで残務整理が残る。

